

「続き」じゃないのに、「次」が待ち遠しい。

月刊 G E K K A N 刊

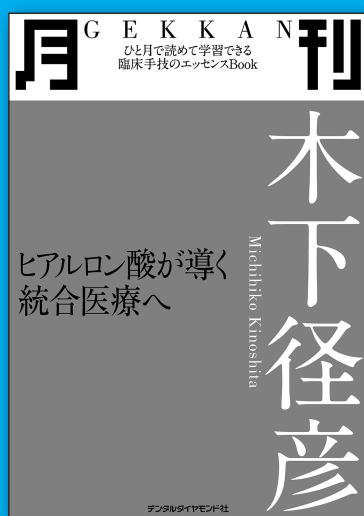
ひと月で読めて学習できる
臨床手技のエッセンスBook

ヒアルロン酸が導く 統合医療へ

New

月刊
木下
径彦

Michihiko Kinoshita



A4判・48頁・オールカラー
定価(本体3,000円+税)

時代を先どる感性を
“技”としよう

いまや歯科治療においては、機能ばかりでなく審美的な要素が重要視されるようになりました。歯科医師には患者の要求を探り、時代とともに変化する美的センスへの対応が求められます。本書は、審美領域において、ヒアルロン酸を用いた処置をとりあげ、歯科医師が行う統合医療としての美容診療を紹介しています。



詳しい情報はこちら→

CONTENTS

What's 美容医療? What's ヒアルロン酸?

- ヒアルロン酸とは
- さまざまなヒアルロン酸製品(市販品と医療用製剤との違い)
- ヒアルロン酸注射剤の種類(医療用)
- 理想的なヒアルロン酸注射剤
- フィラー型注入材としてのヒアルロン酸
- 架橋型ヒアルロン酸充填剤の特徴
- ヒアルロン酸充填剤の変遷

How to use ヒアルロン酸 口腔内と口腔外への臨床応用

- 軟組織と硬組織の関係を意識する
- [口腔内への臨床応用] 硬組織へのアプローチ
 - ・ コラーゲン製剤との併用
 - ・ 骨補填剤との併用
- [口腔内への臨床応用] 軟組織へのアプローチ
 - ・ ガムスマイル
 - ・ ブラックトライアングル
- [口腔外への臨床応用] 口元・顔面・皮膚へのアプローチ
 - ・ 皮膚の構造を考える
 - ・ 注入する部位の判断
 - ・ 注入テクニック
 - ・ 他
- 統合的な処置
 - ・ 軟組織のシルエットを考えた硬組織手術
 - ・ 他

[併発症] & [イメージが違う?] への対処

- 注入後、イメージのズレが生じた場合
- 注意を要するヒアルロン酸以外の軟組織用剤
 - ・ ヒアルロン酸以外の注入剤による合併症

まとめにかえて 美容医療を考察する

- 口元美容を再考する
 - ・ 歯・歯と軟組織・歯槽骨と軟組織
- 美容医療の特徴
- 統合医療 これからのGPの役割

COLUMN

- Dr.KINOSHITA's VIEW 美容医療を導入するにあたって大切な事柄
- ヒアルロン酸の購入方法
- ヒアルロン酸の新しい注入方法
- しわやたるみの原因
- 歯科医師による口元美容
- 失敗を防ぐためのポイント